



\\ 12人がそれぞれの思いを発表 // 糸満市少年の主張大会

第36回糸満市少年の主張大会が7月13日(火)、糸満市農村環境改善センターで開催され、市内各中学校の代表12人が日常生活で体験した思いを発表しました。

同大会は、中学生が日ごろ考えていることを広く社会に訴えるほか、同世代が社会の一員としての意義に目覚めるきっかけとなることなどを目的に開催されています。

最優秀賞には「一度やると決めたことは」の當間聖剣さん(潮平中3年)、優秀賞には「見方を変えたら」の大城代祈さん(兼城中3年)と「誰もが生きやすい世

界を目指して」の中島祐月さん(西崎中3年)が受賞しました。當間さんと大城さんは糸満市代表として島尻地区大会に出場します。

當間さんは「たくさん考えて、たくさん練習したけど、先生の指導があって最優秀賞が獲れたと思います。島尻地区大会では今日のようにうまく発表できるようにしたい」と意気込みました。



\\ 糸満市場いとま〜る // 1周年記念式典を 開催しました！

糸満の暮らし体感施設(糸満市場いとま〜る)がグランドオープンして1周年となることを記念し、7月11日(日)に記念式典が開催されました。

いとま〜る1周年記念式典実行委員長の上原新吾さんは「7月11日にグランドオープンから1年ということで、去年も今と同じような状況でオープンし、多くの方に激励などのお声かけいただきました。ありがとうございます。人でいうと1歳、まだ歩きはじめてですので、これからも来場者や入居者とともに育んでいきたいです」と話しました。

當銘市長は「新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況の中、1周年を迎えられたのも、お客さまやいとま〜るの店舗入居者の皆さまのおかげです。心から感謝とお礼を申し上げます」と話しました。



\\ 食糧支援「フードドライブ」 // 子どもの貧困対策に対する協定締結

糸満市、日本郵便沖縄支社および糸満市社会福祉協議会は、子どもの居場所や食事支援が必要な世帯への食品支援「フードドライブ」に取り組むことを目的として、子どもの貧困対策に関する協定を7月15日(木)に締結しました。

久田支社長は「地域のお客さまの生活を総合的に支援するトータル生活サポート企業として、『そばにいるから、できることがある。』を合言葉に、社会と地域の発展に引き続き貢献できる

よう社員一丸となって取り組んでいきたい」と話しました。

當銘市長は、「フードドライブの取組みが多く市民に浸透することにより、子どもの貧困対策に対する支援の輪がさらに充実すると思います。多くの皆さまにご協力をお願いしたい」と話しました。

フードドライブは、市内(糸満、糸満新島、西崎、潮平、兼城、高嶺、三和、喜屋武、米須)の9郵便局窓口でフードボックスを設置して家庭で余った食品の寄付を募り、市内の子どもの居場所や食料支援が必要な世帯へ配布する取り組みです。



中学硬式野球の沖縄ダイヤモンドベースボール倶楽部に所属する糸満中学校の上原昭千さんと、潮平中学校の金城恵輔さんがポニーリーグ第37回夏季大会優勝報告のため、6月25日(金)に関係者らと糸満市役所を訪れました。

上原さんは「春季全国大会では悔しい思いをしたので、また全国大会に出れて嬉しい」と、金城さんは「春季大会ではあまり活躍できなかったのが、7月と8月の全国大会では結果を残せるように頑張りたい」とそれぞれ話しました。

報告を受けた當銘市長は「3月の春季大会に続き、優勝おめでとうございます。夏季全国大会では今まで頑張った成果を発揮してきてほしい」と激励しました。

\\ 災害時に地図を活用 // 災害時支援協定を締結



災害時の迅速な情報収集等に活用するために、株式会社ゼンリンの地図製品等の災害時支援が受けられるものとして、糸満市と株式会社ゼンリンならびに株式会社ゼンリンインターマップが7月13日(火)、市役所で「災害時における地図製品等の供給等に関する協定書」の締結式を執り行いました。

株式会社ゼンリンインターマップの大嶺香代表取締役社長は「ゼンリンの地図製品は、これまでも被災した自治体から求められ、支援提供し活用されてきた実績があります。この協定によって、地図が防災に活かされ、糸満市民の安心安全に寄与することを大変うれしく思います」と話しました。